

1. 環境学習コーディネート実施概要 (Web 掲載)

依頼No	11	事例No	7	依頼者	愛知江南学園誠信高校	実施場所	愛知江南学園誠信高校 誠修館 (武道館)
実施対象	1年生9クラス (291名)						
実施日時	令和4年11月7日 (月) 15時30分~16時20分						
テーマ	身近な生活から地球環境を考えよう						

●依頼内容

高校生が興味を持てるような内容の環境問題の授業をLTの時間で実施したい。

●講師：原 理史 氏 (中部地方 ESD 活動支援センター、中部大学国際 ESD-SDGs センター)

原氏は EPO 中部および中部大学中部高等学術研究所に所属するとともに、中部地方 ESD 活動支援センター担当責任者、名古屋産業大学大学院非常勤講師などを務めている。これまで、子どもから大人まで様々な年齢層を対象に、ESD をはじめとする環境問題に関わる各種講演会の実績がある。

●授業の内容

講義 地球環境問題と SDGs	講師は、パワーポイントを使って、地球環境問題と SDGs について説明を行った。20 世紀後半からの人間活動の爆発的な増大によって地球環境は限界に近づいていることや、世界中で取組が始められている SDGs の目標について学んだ。また、我が国の異常気象や気象災害の実態と、SDGs に関して現状の目標達成状況や今後の課題についても学んだ。	20 分
クイズ	講義で学んだ内容をふまえて、①生物、②水、③エネルギー、④食、⑤ごみという5つの分野からクイズが出題された。クイズを通して、「生き物に接する時」「買い物をする時」「ごみを捨てる時」などに、どんな行動をとるべきか、また地球にやさしくするために自分たちに何ができるかを考えた。	15 分
SDGs ワーキング シートづくり	ワーキングシートづくりにあたり、講師から SDGs は私たちの暮らしに身近なものであることについて、うどん屋を例に説明があった。それをふまえて、生徒は自身の普段の行動をひとつ取り上げ、SDGs との関係を考えて。また、SDGs に貢献あるいは足を引っ張らないためにどう行動していくのか、ワーキングシートに記入した。	15 分

●授業の様子

授業は、武道館を会場に行われた。地球環境問題や SDGs は、高校生にとって日頃から耳にしている言葉ではあるものの、その背景や実態、SDGs の 17 の目標等の詳細については十分に理解されていない様子であり、真剣に講師の話の話を聞いたり、クイズの回答を考えたりしていた。SDGs ワーキングシートづくりでは、生徒一人ひとりが事前に選んでおいた「身の回りの行動」について、SDGs の 17 の目標とどのように関係しているのか、また、その目標達成に貢献するためにどう行動するかを真剣に考え記入していた。

地球環境問題と SDGs について学んだ。



SDGs ワーキングシートづくりを行った。

